

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22014	事業名	下水道ストックマネジメント対策事業		評価分類	A1	
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他( )					担当部署	
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	13:下水道事業会計	
		基本施策	03:上下水道の充実			款	資1:資本的支出	
		施策の方向	02:生活排水対策の推進			項	01:建設改良費	
重点プロジェクト	-		目	01:管渠整備費				
事業期間	H 29 年度 ~ R 7 年度		主な根拠法令等	下水道法、都市計画法				

担当部署	
部	上下水道部
課	下水道課 下水道工務G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	健全な生活環境や公共用水域の保全・維持のためには、施設の適切な維持管理が必要不可欠であることから、公共下水道施設の老朽化に起因した事故発生や機能停止等の事態を未然に防止する必要がある。	下水道供用開始区域内の市民	ストックマネジメントを推進し、長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の進行状況に応じた対策を講じ、施設管理を最適化することにより、持続的な下水道機能を確保する。	亀山市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、維持管理を起点としたマネジメントサイクルの確立を図り、老朽化が進む下水道施設に優先順位付けを行った上で、施設の点検・調査・修繕・改築を実施する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○改築工事	○改築工事	○改築工事	○改築工事 ○ストックマネジメント計画の見直し		
	活動実績 (計画通り実施できたか)	下水道管渠の施設が最も古いみどり町地内において、亀山市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、効率的・効果的に老朽化した下水道管渠の改築工事を実施した。					
計画額	事業費	事業費	60,000千円	60,739千円	60,000千円	60,000千円	
		国・県支出金	19,000千円	19,000千円	26,500千円	20,500千円	18,000千円
		地方債	41,000千円	41,700千円	33,500千円	39,500千円	42,000千円
		その他		39千円			
		一般財源	0千円	0千円			
決算額	事業費	事業費		60,739千円			
		国・県支出金		19,000千円			
		地方債		41,700千円			
		その他		39千円			
		一般財源		0千円			
①期間内事業費(R4-7)		240,000千円	②期間外事業費(R8-)	0千円	①+②総事業費	240,000千円	

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	60,739千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	管渠改築・更新率 各年度末の管渠改築・更新率 (管渠改築更新実施済延長/計画期間内の計画対象管渠延長)	成果	%	計画値	30	53	81	100
				実績値	33			
				計画値				
				実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	A 下水道管渠の施設が最も古いみどり町地内において、老朽化の進行状況に応じた改築工事を実施した結果、管渠改築・更新率として33%と目標値を達成することができた。  十分な成果を得た

事業の対象	事業の目的
(再掲) 下水道供用開始区域内の市民	ストックマネジメントを推進し、長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の進行状況に応じた対策を講じ、施設管理を最適化することにより、持続的な下水道機能を確保する。

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	下水道施設のストックは膨大で、全ての管路を点検・調査及び修繕・改築していくためには、多大な労力、時間、費用が必要である。そのためには、国庫補助金等の財源確保に努め、ストックマネジメント計画に基づき、効率的・効果的に実施していくことが必要である。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和5年度で対応する(した)もの 交付金の内示率が年々減少傾向にあり、国の補正または、制度改正等の情報をいち早く収集し財源確保に努める。	令和6年度以降で対応するもの 交付金の内示率が年々減少傾向にあり、国の補正または、制度改正等の情報をいち早く収集し財源確保に努める。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
(履歴) 成果判定	A			
事業展開	継続(現状維持)			

1次評価者	上下水道部 下水道課 下水道工務GL 曾我 信介
最終評価者	上下水道部 下水道課長 宮崎 伸二